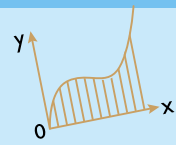
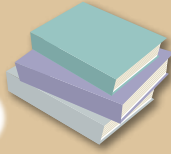




市大授業

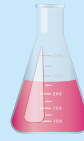


文学部を 知りたい人のための



文学部の模擬講義

自己という謎：「自分探し」の哲学？
ドイツ語圏の悩める作家たち
都会はなぜ田舎ではないのか？
文学部学生とのフリートーク！



数学や理科の 好きな高校生のための

理学部の模擬講義

素数の不思議
生活を彩る分子の世界
地質学からみる近畿の巨大地震と
大規模土砂災害
宇宙プラズマの物理
宇宙生物学への誘いー植物と重力



参加費 **無料**

平成29年

4月29日 (土・祝)

午後1:00～3:50(受付:正午～)



文学部会場 (1号館)

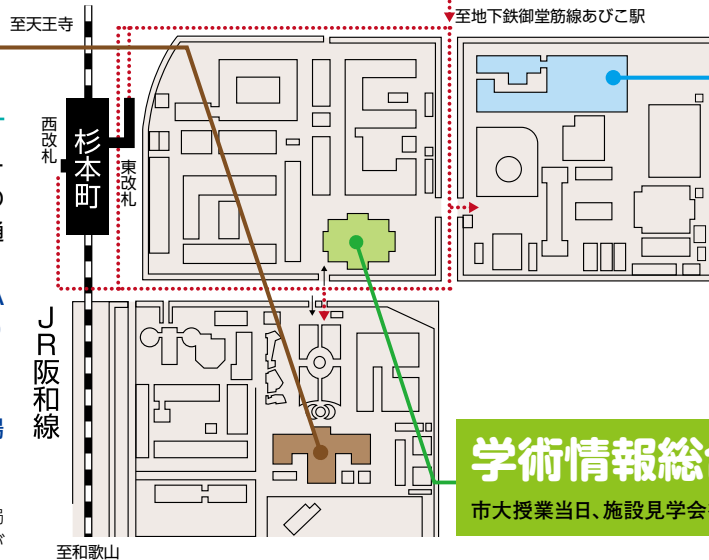
申込方法

下記の①～⑥項目を明記のうえ、メール、ファックス、往復はがき、いずれかの方法でお申込みください。後日、受講通知書を返送します。

- ① 受講を希望する講義コース(例:理Aコース/各時限より1つずつ選択可能)
- ② 住所 ③ 氏名(ふりがな)
- ④ 高校(または予備校)名
- ⑤ 学年 ⑥ 電話番号(FAXで申込みの場合はFAX番号も記入のこと)

※メールでのお申込みについて

お申込みいただいたメールアドレスに順次事務局より受講証の返信を行います。1週間以上返信がない場合はお手数ですが、下記事務局までお問い合わせをお願いします。



理学部会場 (全学共通教育棟)

会場 杉本キャンパス

- JR 阪和線「杉本町駅」下車 東改札から徒歩約8分
- 地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車 ④号出口より徒歩約20分

学術情報総合センター(図書館)

市大授業当日、施設見学会を実施します(午後2時～5時)

保護者の方の聴講も歓迎です!

申込先

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学 地域連携センター
メールアドレス shidai@ado.osaka-cu.ac.jp TEL 06-6605-3504・FAX06-6605-3505

申込締切 平成29年4月21日(金)

大阪市立大学 市大授業

検索



主催 大阪市立大学

対象 高校生・予備校生

定員 各講義150名(先着順)

文学部



文学部を知りたい人のための市大授業
～ひらけゆく世界 みえてくる人間～



理学部

数学や理科の好きな高校生のための
市大授業

第1時限 PM 1:00 ~ 2:10

自己という謎：「自分探し」の哲学？

文A 哲学 佐金 武 講師

私とは何だろう。それはどこにあるのか。そもそもそれは存在するのだろうか。誰もが生まれてから一度は直面するこの問題は、自己をめぐる様々な考えが複雑に絡み合うゆえに、とても深遠なものに思われます。しかし、問いの立て方にこそ哲学の本領があります。この授業では、みなさんとともに、自己をめぐる本当の問いとは何かを明晰化することを試みます。

ドイツ語圏の悩める作家たち

文B ドイツ語フランス語圏言語文化学 高井 絹子 准教授

20世紀初頭、ごく身近な(しかし本人にとっては深刻な)問題をテーマに作品を書いていたドイツ語圏の作家たちは否応なく世界大戦の渦に巻き込まれてゆきました。彼らは戦争の時代をどう生き抜き、作品はどのように変化したのでしょうか。授業では、ベルトルト・ブレヒト、トーマス・マン、ヘルマン・ヘッセを中心にその足跡を辿ります。

都会はなぜ田舎ではないのか？

文C 社会学 笹島 秀晃 講師

きらびやかで活気あふれる都会の生活にあこがれる人がいるかもしれません。その一方で、都会はごみごみしていて物騒なような気がして、田舎のほうが好きな人もいます。都会と田舎の暮らしぶりの違いはどのように生じるのでしょうか。社会学の一分野である都市社会学は、こうしたテーマを100年以上も追求し続けています。これまで行われてきた様々な社会調査の結果を紹介しながら、都会と田舎の違いについて考察します。

素数の不思議

理A 数学科 佐野 昂迪 講師

素数とは1と自分自身でしか割り切れない自然数のことですが(ただし1は素数に含めません)。素数は実に様々な不思議な性質を持っています。例えば、 p を素数とし、 a を p で割り切れない整数とすると、 a の $p-1$ 乗を p で割った余りは必ず1になります。(なぜでしょうか?考えてみて下さい。)この授業では他にも素数の色々な性質についてとりあげ、「素数の不思議」を体験してもらいたいと思います。

生活を彩る分子の世界

理B 化学科 東海林 竜也 講師

桜の薄紅色、菜の花の黄色、木々の緑色、私たちの身の回りには様々な色に溢れています。色は分子と深く関わっており、光と分子の相互作用は化学の重要な学問分野となっています。この授業で、色と光をキーワードに、日常生活を分子の世界から覗いてみましょう。

地質学からみる近畿の巨大地震と大規模土砂災害

理C 地球学科 三田村 宗樹 教授

南海トラフに沿った巨大地震が今後30年以内に発生する確率は70%程度とされ、その危険性が心配されています。地震だけでなく、大きな降雨をきっかけに、大規模な斜面崩壊が紀伊山地で多数発生しています。南海トラフ地震と紀伊山地での大規模斜面崩壊には一見かわりがないように見えますが、決してそうではありません。この授業では、それらがどのように関わっているのかを、プレートテクトニクスと付加体形成などの現象を通じて解説します。

第2時限 PM 2:40 ~ 3:50

文学部学生とのフリートーク！

文D 大学生活を詳しくご紹介します。
途中入退室自由。

(協力:大阪市立大学文学部・文学研究科教育促進支援機構)



昨年の様子



宇宙プラズマの物理

理D 物理学科 浜端 広充 准教授

我々の地球を取り巻く宇宙空間は決して真空ではなく、電離した気体である「プラズマ」で満ちています。また、地球のエネルギーの源である太陽もプラズマの塊です。宇宙のプラズマは、電磁場と相互作用することで、様々なダイナミックな現象—例えば太陽表面でのフレア爆発や、我々を魅了するオーロラなどを引き起こします。この授業では、プラズマの基本的振る舞いを平易に解説し、実際に宇宙でみられるプラズマ現象を紹介します。

宇宙生物学への誘い—植物と重力

理E 生物学科 保尊 隆享 教授

皆さんが今まで学習してきた生物学は、地球環境下で見られる生命現象についての研究成果をまとめたものです。このような生物学の知識は、宇宙環境に普遍的に適用できるのでしょうか。地球上での植物の重力反応や、宇宙の微小重力環境における植物のふるまいを例として、宇宙生物学(宇宙生物科学、宇宙生命科学)という新しい研究分野について紹介します。



施設見学会
PM 2:00 ~ 5:00

● 学術情報総合センター(図書館)

学生が自由に使えるPCルームやラーニング・コモンズも備えた国内最大級施設の大学図書館です